



大分泌尿器科病院 理事長・院長

宮内 聡秀 氏

泌尿器科治療に多くの選択肢を

1974年の創立から、人々のデリケートな悩みに向き合ってきた。患者にとってより良い治療法を追求する中で、その時々新たな医療を取り入れている。理事長兼院長となった2018年以降は、尿意を我慢しにくくなる過活動膀胱に対してボトックス注射治療を始めた。中でも前立腺肥大症に関する治療には手応えを感じている。近年の手術実績は、尿路結石が874件（2021年1月）

22年10月、前立腺肥大症が379件（同）。治療による傷や出血などがより少ないレーザー手術など低侵襲の治療に心を配り、その知見を学会でも発表している。泌尿器科は敷居が高く、受診しづらい診療科でもある。内科などを受診するものの、治療がうまくいかず、長期にわたって病院を転々とする人もいるという。同院では昨年度、副院長として永松弘孝氏を新たに迎え、女性泌尿器科を開設し

た。がん治療や、骨盤底筋が緩み子宮や膀胱などが膣に下がる骨盤臓器脱の手術に加え、腹腔鏡手術も行えるよう院内の体制を整えたことで、泌尿器科分野での多くの治療が同院で可能になった。「悩んでいる人はまだ多くいると感じる。気軽に相談できる環境をつくり、早期の治療につなげたい」と話す。

例年、年末まで手術予約が埋まる多忙な日々。共に働くスタッフに対しては「忙しい病院なのできつい思いをしながらも頑張ってくれている。治療に関しても良いチームができ、感謝している」と労う。

新しい治療法に挑戦し続けるのは、何より患者の喜ぶ姿が見たいから。「既存手術は悪いわけではない。ただ、新しい治療法のメリットもある。医師として常にアンテナを張って勉強し、技術をアップデートし、さまざまな選択肢を提案できる病院でありたい」

保険適用の治療だけでなく自由診療が選べる病院であることも、選択の幅を広げる一助と考える。「『自分の家族だったらどうするか』という視点で、患者さんとよく話す中で治療を一緒に考えていきたい」。患者本位の医療を追求していく。



宮内聡秀院長(右)と永松弘孝副院長

病院DATA

●診療科目
泌尿器科・消化器内科・消化器外科・肛門外科
麻酔科(後藤孝治他)

●診療時間
月・火・木・金／9:00～18:00
水曜／9:00～12:00

●休診日
土曜、日曜、祝日、水曜(午後)



Oita Urology Hospital

医療法人 圭成会

大分泌尿器科病院

大分市長浜町2-1-32

TEL097-532-3177

<https://www.oita-hinyoukika.com>

